

## 「香りの文化」研修報告

7月14日(火)、第1支部研修「香りの文化」を開催しました。参加者は42名(正会員28名、非会員10名、運営担当4名)で、東京・埼玉・千葉・神奈川から英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の全国通訳案内士が集まりました。



講師には、香文化研究家・劇作家であり、株式会社日本香堂ホールディングス特別顧問を務める稲坂良比呂氏をお迎えしました。前半は約2時間の講義、後半は交流会を行い、質疑応答や参加者同士の交流を通じて理解を深めました。

通訳ガイドは茶道や華道を説明する機会が多い一方、香道や日本の香り文化を体系的に学ぶ機会は限られています。今回の研修では、お香や香木の基礎知識に加え、日本の香文化の歴史の変遷や、文学・宗教・美意識との関わりについて学びました。

講義では、日本史を時代ごとに振り返りながら、それぞれの時代における香の役割や楽しみ方をわかりやすくユーモアも交え解説いただきました。『源氏物語』と香文化の関係、「源氏香」の仕組み、日本人特有の美意識や抽象を愛でる感性、日本独自の香文化の特徴なども紹介され、参加者は香りを通して日本文化の奥深さを再認識しました。



アンケートでは、「香り文化の歴史を基礎から学び、その独自性を理解できた」「これまで香道の説明に自信がなかったが、今後は積極的に紹介したい」といった声が寄せられました。また、「香文化が文学や美意識、自己表現など日本文化に大きな影響を与えてきたことを改めて考えさせられた」という感想もありました。

香道についてほとんど知識がなかった参加者からは、「日本文化との深い関わりを知り興味が湧いた」「歴史や宗教、文学まで幅広く学べた」と好評でした。さらに、「香り商品の購入や香道体験を案内する際に歴史や背景も説明できるようになった」「リピーター向けに紹介したい」と、実際のガイディングへの活用を期待する声も目立ちました。

稲坂先生の講義は「物語を聞くようで引き込まれた」「知識と情熱に圧倒された」と高い評価を受ける一方、「もっと詳しく聞きたい」「聞香体験もしてみたい」といった要望も多く、参加者の学習意欲を大いに刺激する研修となりました。

訪日外国人旅行者の関心が日本人の感性や精神文化へと広がる中、香りという目に見えない文化を学ぶ本研修は、日本文化をより深く伝えるための貴重な機会となりました。最後に、ご多忙の中ご講義くださった稲坂良比呂先生ならびにご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

(第1支部研修担当)